

# いわて復興だより

がんばろう！岩手、つながろう！岩手

三陸復興

第46号  
(平成25年8月15日号)  
岩手県

復興に向けて歩んでいる岩手の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

本格的な夏を迎え、陽射しが眩しい季節。復興に向けて歩み続ける被災地。そんな岩手の今を紹介します。

8月6日(火)、沿岸北部の野田村で、東日本大震災津波の浸水区域内に整備する都市公園の工事と、集団移転事業計画の移転先である米田、南浜地区を結ぶ村道の改良工事の安全祈願祭が開催されました。

当日の安全祈願祭には、都市公園計画を話し合うワークショップに参加した高校生も出席し、都市公園に関する思いを語りました。

野田村は、安全な住居環境を整備するため浸水区域を災害危険区域に指定し、城内地区と米田、南浜地区の高台2箇所に集団移転事業を計画。

その跡地に良好な生活環境機能、防災・減災機能を併せ持つメモリアルパーク(津波防災緑地)を整備し、津波襲来時には、津波の緩衝地帯としての役割も期待されています。

被災地域での都市公園整備工事は、県内初

都市公園整備事業の着工は県内初  
村道改良工事が開始  
都市公園整備工事及び  
野田村

の工事着手で、来年9月末に完成予定です。

また、村道改良工事は、国道45号線を起点に各地区の団地に接続する延長640mの道路を新設するもので、来年5月末に完成予定。

被災前の地域コミュニティの確保及び避難経路としての役割を果たす重要な道路として整備されます。



安全祈願祭の様子

スピーチをする久慈工業高校の生徒

## 「盛岡さんさ踊り」に応援自治体のご当地キャラが大集合

全国・世界からの支援に感謝

盛岡市

8月1日(木)、「盛岡さんさ踊り」の会場に、全国応援自治体のご当地キャラ(ゆるキャラ)がかけつけ、来場者と握手や記念撮影等の交流を行いました。



全国応援自治体のご当地キャラと達増知事

この取り組みは、「岩手県民130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げる「スマイル130プロジェクト」の一環として、全国からの応援職員と、職員の派遣元自治体をはじめとした国内外からの支援に対して感謝の気持ちを伝えるとともに、復興を一層力強く推進していくために行われたものです。

平成23年度より始まり、3回目となる今回は、各自自治体のご当地キャラ15体(北海道=ブルビー、青森県=決め手くん、秋田県=スギッチ、埼玉県=コバトン、千葉県=チーバくん、東京都=ゆりーと、静岡県=ちゃっぴー、愛知県=なごびょん、大阪府=モッピー、島根県=吉田くん、山口県=ちよるる、沖縄県=アバサング、新潟市=花野古町、名古屋市=シャチのジュンちゃん、福岡市=エコッパ)と本県のわんこきょうだい等のキャラ8体が参加し、過去最多のキャラ数となりました。

当日は、あいにくの雨により、予定されていたパレードへの参加は中止となりましたが、珍しい全国各地のキャラとの交流に、来場者は目を輝かせていました。

いわて復興応援団(員)大募集中!

知って、買って、食べて、行って応援!

登録無料



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員(個人)と応援団(法人及び団体)の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団

検索



# 大船渡復興グルメフェスティバル が開催されました

大船渡市

8月3日（土）、「大船渡復興グルメフェスティバル」が、JR大船渡駅前イベント特設会場で開催されました。

このイベントは、社団法人大船渡青年会議所創立45周年記念事業として、大船渡の“ご当地グルメ”の創出を目指すとともに、震災でご支援頂いた方々との交流を図ろうと企画されたものです。

当日は、大船渡の仮設店舗で営業しているお店を中心に、県内は、陸前高田市、住田町、釜石市及び大槌町から、県外は、秋田県能代市、神奈川県相模原市、新潟県十日町及び北海道留辺蘂（るべしべ）町からの合計25店舗が出店。多くの来場者はそれぞれの味を楽しみました。



グルメフェスティバル会場の様子



お披露目された「復興未来図」

## 会場では子供たちの「復興未来図」もお披露目

また、会場では、モザイクアート「復興未来図」の除幕式が行われました。

このモザイクアートは、市内の小学校全児童が12センチ角の用紙に「自分の夢」、「将来の大船渡像」の絵を描き、集まった約1,600枚の絵を縮小し繋ぎ合わせて作られたものです。

イベントを主催した社団法人大船渡青年会議所の濱守秀和理事長は、「大船渡の食材であるサンマやワカメ、アワビやウニを使ったご当地グルメを創出し、交流人口を増やしたい。大船渡の復興の目指すべきところは“子どもたちの笑顔”です。笑顔あふれる大船渡を作るために“復興未来図”を製作しました」と、企画に寄せた想いを話しました。

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

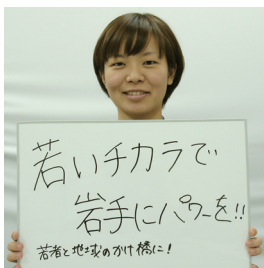
第3回目は、八重樫 綾子さんを紹介します。

### PROFILE

盛岡市出身。岩手県立大学社会福祉学部卒業。大学1年のときに「岩手県立大学 学生ボランティアセンター」に参加。以降、岩手宮城内陸地震、東日本大震災津波等、被災地域のボランティアに係わる。2012年2月、NPO法人「いわて GINGA-NET」を設立。代表を務め、現在2年目。



NPO 法人  
「いわて GINGA-NET」  
八重樫 綾子  
(やえがし あやこ) さん



八重樫さんからのひと言：  
若いチカラで岩手にパワーを！  
～若者と地域のかけ橋に！～

地・被災者のニーズと学生の想いを結びつけるために結成された「いわて GINGA-NET プロジェクト」のメンバーとして活動する中、今後もプロジェクトを継続していく必要があると感じ、2012年2月にNPO法人「いわて GINGA-NET」を設立。現在は応急仮設住宅を中心としたコミュニティ支援を展開しています。

### 若い人たちのパワーと地域を繋ぐ

「被災地の皆さんが自立し前進していくためには、“人が通う”ということが必要だと思います。ボランティアとして“助けに行くんだ”と力むことなく、かかわれる範囲で被災地に足を運んでくれればと思います。

これから先、若い人たちが地域を支える力になっていく必要があるし、若い人たちのマンパワーを活かせる地域の環境づくりも重要です」と、八重樫さんは復興への思いを語りました。

### 岩手県の被害状況

平成25年7月31日現在

### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成25年7月31日現在

- ▶ 人的被害 死者：4,672名 行方不明者：1,145名
- ▶ 建物被害（住家のみ、全半壊） 24,928棟

- ▶ 義援金受付状況 約178億2,988万円（86,229件）
- ▶ 寄付金受付状況 約165億3,804万円（6,228件）
- ▶ いわての学び希望基金受付状況 約58億7,328万円（10,791件）

※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

いわて復興だより 第46号 平成25年8月15日

企画・発行：岩手県復興局総務企画課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス